

経営比較分析表（令和元年度決算）

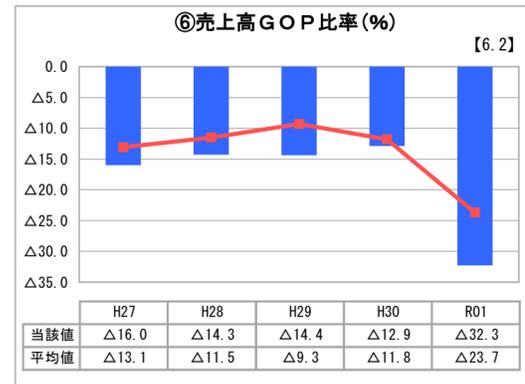
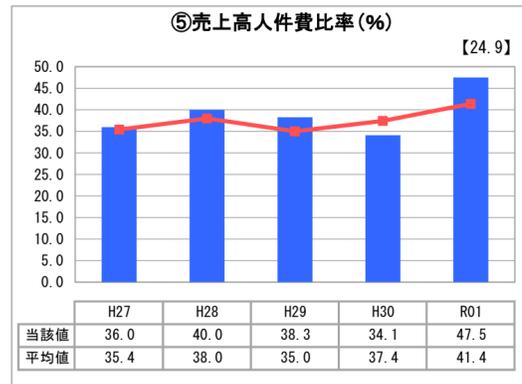
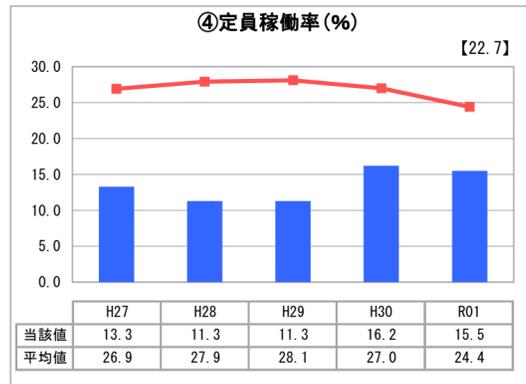
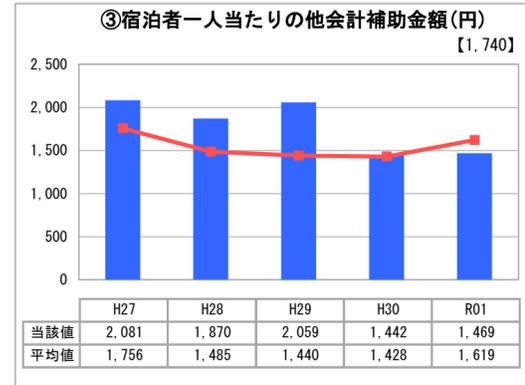
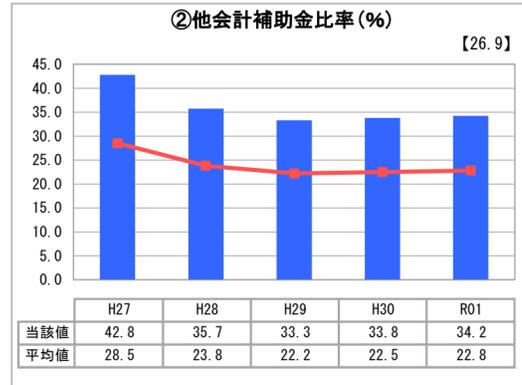
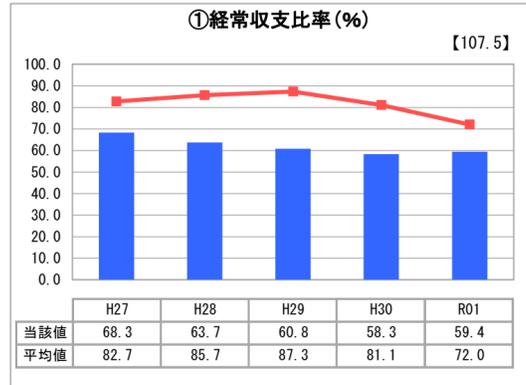
兵庫県たつの市 志んぐ荘

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似施設区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|------------------------|----------|--------|
| 法適用 | 観光施設事業 | 休養宿泊施設 | A2B2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 建物延面積(m ²) | 宿泊定員数(人) | |
| 0.0 | 100.0 | 12,979 | 333 | |

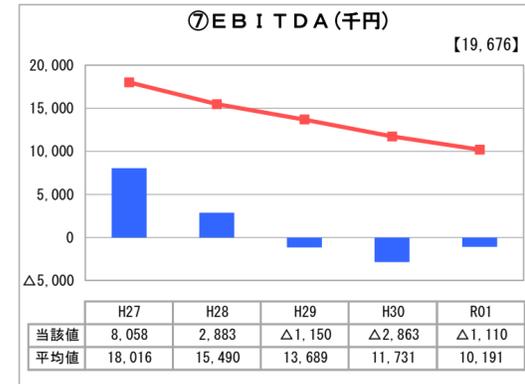
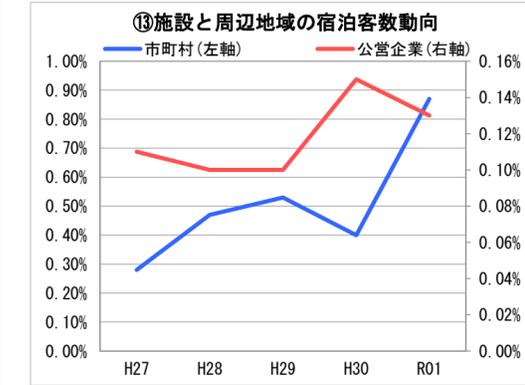
| 客単価(円) | 指定管理者制度の導入 | インターネットによる予約割合(%) |
|---------------|------------|-------------------|
| 5,640 | 利用料金制 | 2.8 |
| バリアフリー法の基準適合性 | トイレ洋式化率(%) | Wi-Fi設置 |
| 無 | 68.7 | 無 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該施設値(当該値) |
| — | 類似施設平均値(平均値) |
| [] | 令和元年度全国平均 |

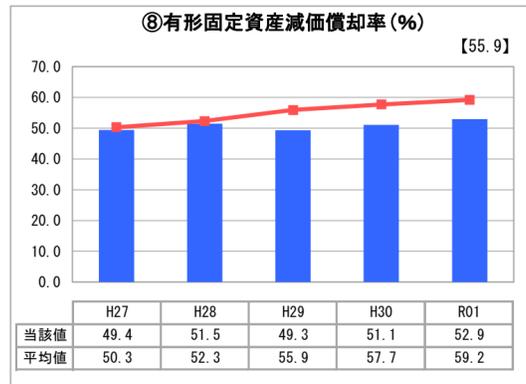
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

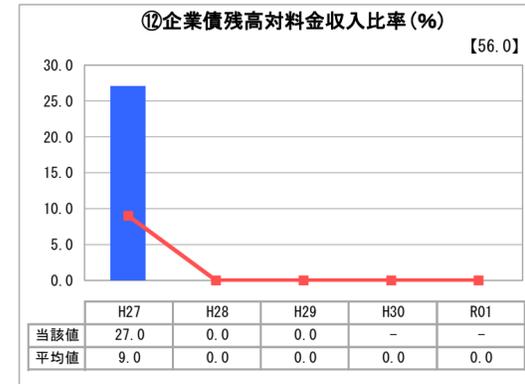
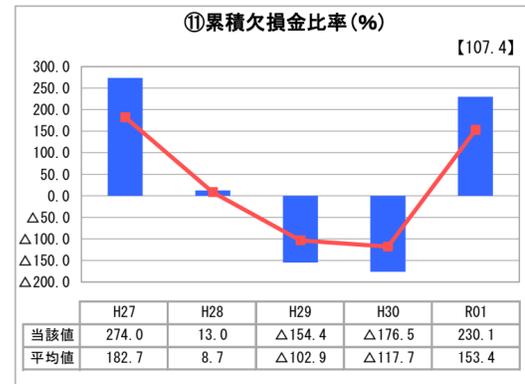


⑨施設の資産価値(千円)

1,499,904

⑩設備投資見込額(千円)

—



分析欄

1. 収益等の状況について
- (経常収支比率) 前年度と比較してやや回復したが、経常収支比率が50%台まで低下している。営業収益が大きく影響しているため、安定した営業収益の確保が必要である。
 - (他会計補助金比率) 類似施設平均値と比較してやや高い水準となっている。公営企業の独立採算性の観点から指定管理料への依存度を低く維持する必要がある。
 - (宿泊者一人当たりの他会計補助金額) 前年度と比較してやや増加し依然として高い水準となっている。団体客の集客など営業強化が必要である。
 - (定員稼働率) 類似施設と比較すると低調であるが、H30に食事メニューの見直しによる競合施設との差別化や新たな顧客層獲得などの営業努力により改善が見られた。今後も引き続き営業による顧客獲得努力をする必要がある。
 - (売上高人件費比率) 類似施設平均値と比較してやや高い水準にあり、前年度と比較しても大きく増加している。人員配置の見直しによる人件費の抑制と売上の増加を図る努力が必要である。
 - (売上高GOP比率) 売上高GOP比率がマイナス圏で推移している。営業収益が大きく影響しているため、仕入れ原価の削減などの業務改善のほか、物販強化・営業強化によるさらなる収益改善が必要である。
 - (EBITDA) 経年比較において収益性の安定的な成長が見られない。引き続き経営改善に取り組む必要がある。
2. 資産等の状況について
- (有形固定資産減価償却率) 類似施設平均値と比較してやや数値は低いものの、経年比較においては確実に老朽化が進んでいる。今後は、施設の計画的な更新等の検討が必要である。
 - (施設の資産価値) 今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。
 - (累積欠損比率) 累積欠損金の解消に向け、さらなる経営改善が必要である。
 - (企業債残高対料金収入比率) 企業債の数値計上はない。更新投資などを含め、今後の施設のあり方を検討するうえで参考にしたい。

3. 利用の状況について
- (施設と周辺地域の宿泊客数動向) 周辺地域の宿泊需要が増加している一方で、本施設は前年度から減少している。感染症拡大による利用者の減少があるが、サービス向上、宿泊、休憩利用の需要を開拓し、利用者数の増加を目指す。

全体総括
多くの項目で類似施設平均値を下回る数値であるが、平成27年度から国民宿舎赤とんぼ荘及び志んぐ荘は、2荘一体経営による指定管理者制度を導入し、指定管理者による管理運営を行っている。今後においても、民間事業者の持つ能力を最大限活用し、創意工夫を凝らした低廉で良質なサービスを提供することで、収益向上を図り、経営健全化を目指す。